

オオイタドリの生育抑制技術

(オオイタドリの生育を効果的に抑制するシートとその接続方法)

本技術は、オオイタドリが生育する箇所にネット状のシート(メッシュシート)を被覆することでオオイタドリの生育を抑制する技術です。従来からシート等の被覆により植物の生育を抑制する手法はありましたが、本技術は、シートの網目の大きさについて検討を行い、オオイタドリといった大型植物のみを抑制可能とし、かつシートの継ぎ目が弱部となりそこからオオイタドリが生育してしまうという課題に対応した技術となります。

これにより、オオイタドリに対して草刈りによる維持管理が不要となるだけでなく、オオイタドリのために生育が阻害されていたのり面緑化植物の生育が良好となり、のり面保護に寄与します。

オオイタドリの繁茂状況



4月(オオイタドリなし)



7月(オオイタドリの繁茂著しい)



メッシュシート被覆による課題



本技術は、土木研究所寒地土木研究所、前田工織産資株式会社(旧社名:三井化学産資株式会社)、株式会社ハブで研究・開発を行い、特許を申請しております

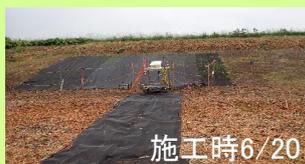
施工方法

メッシュシート(高密度ポリエチレン製樹脂ネット)の網目の大きさは2.0mm以上6.0mm未満です。メッシュシートの接続方法は、10cm程度重ね合わせた下に厚さ1cm、幅10cmの板材をおいてメッシュシートの上からタッカーにより、U字ピンで押さえます。U字ピンの間隔は10cmで千鳥配置とします。メッシュシートの浮き上がり防止のため、地山と板材を1m~1.5mの間隔で長さ20cm程度の金属ピンで押さえます。



メッシュシート被覆の効果

地上部の変化



地下部の変化(メッシュシート敷設1.5年後)



参考文献 佐藤厚子・山木正彦(寒地土木研究所)、石田健一・鈴木健大(三井化学産資株式会社)、樋口法大(株式会社ハブ):大オオイタドリの生育抑制によるのり面保護の試みー異なる大きさの網目を有するメッシュシートの被覆ー、北海道土木技術会土質基礎研究委員会第23回技術報告会